

標準化能力指標 V1 自己評価用ガイドライン

エキスパート用

「国際標準化専門家データベース登録用エントリーシート（様式 1）」内
「9. ISO/IEC 基礎知識」及び「10. 運営・折衝能力」の自己評価*作業用
（*… “上級”・“中級”・“その他”の自己判定）

【必須要件】

- ISO/IEC のエキスパート経験*がある

* 議長、国際幹事、コンビーナ、プロジェクトリーダーの経験者もエキスパート経験者相当とみなす。

【使用方法】

各○付き項目について、“上級”・“中級”・“その他”を自己評価し、その結果を「国際標準化専門家データベース登録用エントリーシート（様式 1）」に転記してください。

各○付き項目に示してある内容は、あくまで自己評価の目安（ガイドライン）としての例示です。
各項目のガイドラインには含まれていないが対象とする役職（エキスパート用）の知識・経験レベルの判断に値すると考えられる内容がある場合には、その内容を各○付き項目下部の“黄色アミカケ欄”に記述してください。

◎○ - は、対象とする役職（エキスパート用）における望ましい知識・経験レベルを表示しています。

◎：上級レベルが望ましい

○：中級レベル以上が望ましい

-：特にレベルを要求しない

N/A は、“-：特にレベルを要求しない”とする項目ですので、「国際標準化専門家データベース登録用エントリーシート（様式 1）」へ記入する必要はありません。

ISO/IEC 基礎知識の内容		
「国際標準化専門家データベース登録用エントリーシート（様式1）」内の「9. ISO/IEC 基礎知識」の自己評価用ガイドライン。		
① TMB 決定事項・上層関係の情報（最新情報の入手方法を含む）	○	自己評価
		上級
		中級
		その他
<p>上級の目安は、<u>中級の目安に加え、以下のいずれか1つ以上に該当していること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 毎年、JSA 主催の上層委員会報告会に参加あるいは資料を入手するなどし、審議内容の概要を理解している ● 少なくとも過去に関連した WG に関わる内容については、最新情報を現在も継続して直接入手して理解している <p>中級の目安は、<u>以下に該当していること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● TMB 決定事項・上層関係の最新情報の入手方法を知っている 		
② 国際標準化の基礎知識	◎	自己評価
		上級
		中級
		その他
<p>上級の目安は、<u>中級の目安に加え、以下のいずれか3つ以上に該当していること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国内の組織（JISC、国内審議団体、国内審議委員会等）と国際組織との関係や国代表組織（ISO では MB、IEC では NC）の位置付け・役割を説明できる ● 欧州各国・米国・アジア主要国の国家標準化組織の略称と、それぞれの標準化体制の特徴を説明できる ● 欧州・米国・アジアの各地域における地域標準化の特徴を説明できる ● WTO/TBT 協定の内容を説明できる ● WTO/TBT 協定の背景を説明できる ● 国際標準化について、複数の側面から受益者への効果を説明できる ● オープン戦略とクローズ戦略の説明ができる ● 国際規格における特許権（パテントポリシー）の使用について説明できる <p>中級の目安は、<u>以下に該当していること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ISO および IEC の正式名称と役割分担を説明できる ● ISO/TMB または IEC/SMB の概要を説明できる ● JTC1 の位置付けを説明できる ● 国際規格と国家規格の関係を説明できる ● 任意規格と強制規格の違いを説明できる ● 規制と標準の関係を説明できる ● デジュール標準とそれ以外の標準の違いについて説明できる 		

③ ISO/IEC Directives (Part1、Part2、各 Supplement)	○	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
<p>上級の目安は、以下のいずれか1つ以上に該当していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ISO/IEC Directives の内容を把握できており、調べたい事項を3分以内に検索できる ● 実際に英語版を使用していた経験があり、かつ最新情報の入手手段を知っている ● エキスパートの責任及び役割について明確に説明することができる <p>中級の目安は、以下に該当していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ISO/IEC Directives の内容は把握できており、調べたい事項を検索できる ● エキスパートの責任及び役割を理解できる 			
④ 国際幹事の役割の理解	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			
⑤ 規格策定及びその手順	◎	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
<p>上級の目安は、以下のいずれにも該当していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ISO/IEC 規格のフォーマット（箇条だてなど）を理解している （ISO/IEC Directives Part2 の箇条 6 原案起草を理解している） ● 標準開発の各段階の名称と役割、期限、投票主体、可決条件を知っている （ISO/IEC Directives Part1 の細分箇条 2.1～2.9 を理解している） <p>中級の目安は、以下に該当していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上級の目安の内容が記載されている規約の存在場所を知っており、見たことがある 			
⑥ 国際規格提案方法	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			
⑦ 電子システムの使用方法 電子システムとは…ISO/IEC が提供する各種電子ツールのこと。	◎	自己評価	
		上級	

ISO 及び IEC それぞれの必須ツールを下表に示す。

中級

その他

ISOの電子ツール
ポスト別の必須ツール一覧

「標準化専門家データベース登録用エントリーシート(A1様式)」内「7. ISO/IEC基礎知識」の「7.2 電子システムの使用方法」の自己評価作業用の参考資料。

【凡例】

◎: 管理・設定等の積極的作業が必要なツール
○: 閲覧ができればよいツール

	議長	国際幹事	コンビーナ	プロジェクトリーダー	エキスパート	国内審議団体事務局
ISO meeting management	○	○	○	○	○	○
Electric Balloting	Committee international balloting	○	◎			
	Working Group consultaion			◎		
	DIS/FDIS balloting	○	○			
	Systematic review balloting	○	○			
	Post-Voting decision process		(◎)*1			
eCommittees (ISO/IEC)	○	◎	◎	○	○	○
Project Portal	○	○	○	○	○	○
Submission Interface	○	◎				
National Mirror Committees					(○)*2	(○)*2
Comment Collation Tool		◎	◎	◎		
Online Browsing Platform(OBP)	○	○	○	○	○	○

*1 Post-Voting decision processの使用は任意。

*2 eCommittees (ISO/IEC)に登録外のエキスパートはNational Mirror Committeesに登録して閲覧することがある。

備考1) 本一覧表は、各ポスト等に関して“最低限”必要なものを示したものである。

備考2) Voterは本リストの対象外である。

備考3) 国内審議団体については、各団体の方針により必須ツールが異なる場合がある。

IECの電子ツール
ポスト別の必須ツール一覧

「標準化専門家データベース登録用エントリーシート(A1様式)」内「7. ISO/IEC基礎知識」の「7.2 電子システムの使用方法」の自己評価作業用の参考資料。

【凡例】

◎: 管理・設定等の積極的作業が必要なツール
○: 閲覧ができればよいツール

	議長	国際幹事	コンビーナ	プロジェクトリーダー	エキスパート	国内審議団体事務局
IEC Meeting Registration System (MRS)	○	○	○	○	○	○
IEC Electronic Voting						◎
TC/SC Dashboard*1	○	○	○	○	○	○
Newdocs*1	○	該当するTC/SCに限って◎ その他の文書は○	○	○	○	◎
Collaboration Tools	◎	◎	◎	◎	◎	

*1 IEC作業文書の閲覧には、NCIによる許可が必要。

上級の目安は、以下のいずれか1つ以上に該当していること

- 2010年以降に電子システム (ISO では eCommittees、IEC では IEC 文書サーバ) の使用実績がある
- 過去に電子システム (特に ISO については旧 TC SERVER または eCommittees、IEC については IEC 文書サーバ) の使用実績があり、システム改訂の内容については改訂から1年以内にフォローアップしている

中級の目安は、以下に該当していること

● 過去に電子システムの使用実績がある			
⑧ 規格作成用テンプレートの使用方法	○	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
<p>上級の目安は、以下に該当していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 過去に延べ4回以上このツールを使用して規格のエディトリアルな修正を行ったことがある <p>中級の目安は、以下のいずれか1つ以上に該当していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 過去にこのツールを延べ2回以上使用して規格のエディトリアルな修正を行ったことがある ● 過去にこのツールのトレーニングを受けたことがある 			

運営・折衝能力の内容			
「国際標準化専門家データベース登録用エントリーシート（様式1）」内の 「10. 運営・折衝能力」の自己評価用ガイドライン。			
① 国際幹事の指導	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			
② 国際会議（TC/SC）の運営及びまとめ（会議内容の要約、説明も含む）	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			
③ TMB（あるいはSCの場合にはTCなど、上位組織）への説明（TC/SCの現状や問題点など）	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			
④ SBPの立案と実施	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			
⑤ 中央事務局との調整（運営又は規格策定手順について） 調整とは： Directives の問題や運営上の問題について尋ねるなど、 中央事務局との連絡・調整・相談。	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			
⑥ TC/SCメンバー・リエゾンメンバーへの周知徹底 知らせるべき情報・所定の期限内とは： たとえば、ドラフトアジェンダをeCommitteesにアップする作業を、国際会議開催の4か月前までに行っていたかどうか	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			

⑦ 作業文書へのコメント処理	○	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
<p>上級の必須要件は、以下の<u>いずれにも</u>該当していること 中級の目安は、以下の<u>いずれか2つ</u>に該当していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コメント用テンプレートの最新版の入手方法を知っている ● コメント用テンプレートを入力方法を知っている ● 記載されたコメントが的確に理解できない場合に、コメント発信元に確認して変更を求めたことがある 			
⑧ プロジェクト管理	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			
⑨ WGの運営、WGの開催準備、WGメンバーへの連絡 知らせるべき情報とは： 中央事務局からの連絡のうちWGに知らせるべきもの、プレナリーの変更点、電子システムの変更点など インプットとは： eCommitteesを通じてコンビーナに知らせる、または、会議等の際に対面で伝えること	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			
⑩ 国際幹事との調整	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			
⑪ 国際幹事との責任分担	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			

⑫ 国内審議委員会の運営	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			
⑬ ISO/IEC 国代表業務の推進	-	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
N/A			
⑭ 国際会議（WG）での専門的議論の推進	◎	自己評価	
		上級	
		中級	
		その他	
<p>上級の目安は、<u>以下に該当していること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3年以上または5回以上のWG国際会議への参加経験があり、自分の意見を3回以上反映させた経験がある <p>中級の目安は、<u>以下に該当していること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3年未満または5回未満のWG国際会議への参加経験があり、自分の意見を1~2回反映させた経験がある 			

以上